



付 注

付注 1

失業に関する指標について
(第1 - (1) - 16図)

我が国では、完全失業者を労働力人口で除したものが、完全失業率として公表されているが、潜在的失業の動向や失業の深刻度の動向などを分析する視点から各種の推計失業率指標が検討されてきた。本分析は、総務省統計局「労働力調査（詳細集計）」をもとに下記の4つの失業指標を推計したものである。

長期失業率	労働力人口に占める長期失業者の割合。 ここでは、失業期間1年以上の完全失業者を長期失業者とした。
非自発的離職失業率	労働力人口に占める非自発的失業者（契約期間満了による退職を含む）の割合。
完全失業率	労働力人口に占める完全失業者の割合（公表失業率）。
潜在失業を含む失業率	完全失業率に求職意志はあるが、求職意欲を失い求職活動をしていない者を加えたもの。 ここでは非労働力人口のうち、就業を希望しており、仕事があればすぐにつくことが可能であり、過去1年間に求職活動を行ったことがある者で、現在は今の景気や季節では適当な仕事がありそうにない近くに仕事がありそうにない、自分の知識・能力に合う仕事がありそうにない、勤務時間・賃金などが希望に合う仕事がありそうにない等の理由で求職活動を行っていない者を対象とした。